

第 46 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2010 年 2 月 24 日(水) 15 時 00 分～16 時 10 分

場所: 管理棟 2 階 第一応接室

出席者: 横山孝男部会長、松田則男、小山明夫、新関久一、大町竜哉、神戸士郎、奥山澄夫、高畑保之、結城敏夫、片山政弘各委員、小室秀一編纂室員、斎藤ひろみ編纂室補助員、細谷朋浩氏((株)ぎょうせい)、小関栄助氏、石田治氏

欠席者: 小池邦博、山崎洋一郎各委員、

【配布資料】

- [資料 46-1] 「米澤高等工業学校長大竹多氣について」小関栄助氏 [A4 判 2 枚 / 4 ページ]
- [資料 46-2] 「百人の声」原稿執筆依頼状況 2010 年 2 月 23 日現在 [A4 判 2 頁]
- [資料 46-3] 「百人の声」「写真化学材料について(パターンニング材料)」佐藤勉氏 [A4 判 2 頁]
- [資料 46-4] 「百人の声」「リニアメトロ電車開発の原点は米沢の地にあり」安藤正博氏 [A4 判 2 頁]
- [資料 46-5] 「百人の声」「鉄道車両近代化の波に乗る」江辺純三氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 46-6] 「百人の声」「卒業研究の思い出」竹ヶ原俊幸氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 46-7] 「百人の声」「設計ツールのイノベーション」遠藤秀弥氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 46-8] 「百人の声」「 」鶴田泰三氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 46-9] 「百人の声」「高木外次先生のヒューマンリレーションが、今の時代を蘇らせる!!」篠崎龍夫氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 46-10] 「百人の声」「根を育てる教育」渡邊豊一氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 46-11] 「百人の声」「生きることは学ぶこと」神田勢生氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 46-12] 「百人の声」「人間調和の共存共榮」黄清孝氏 [A4 判 1 頁]
- [資料 46-13] 記念誌校閲結果 [A4 判 2 頁]
- [資料 46-14] 百年の年代記、第 3 章、第 4 章 [A4 判 11 枚 / 21 頁]
- [資料 46-15] ジャーナル進捗状況報告について(2 月 24 日) [A4 判 1 枚 / 2 頁]
- [資料 46-16] 結城学長、横山先生の原稿について [A4 判 1 頁]
- [資料 46-17] 山形大学工学部百周年記念誌『パトリアの学府』台割表 [A4 判 1 頁]
- [資料 46-18] パートナーシップ「米沢工業会」山形工学部を支え続けて [A3 判 4 枚]
- [資料 46-19] 100 周年ジャーナル制作スケジュール(22.2.2.4) [A4 判 1 頁]
- [資料 46-20] 「本館(現重要文化財)の思い出」(今月の話題・片山政弘委員) [A4 判 1 頁]
- [資料 45-15] 部局史進捗状況一覧 (2009.12.22 現在) [A4 判 2 頁]

I) 報告&連絡事項

1. 斎藤ひろみ編纂室補助員からホームページの更新に関する報告があった。
 - (1) 100 年史誌部会 第 44 回議事録を掲載・公開した。
 - (2) 奥山澄夫教員の今月の話題を公開した。
 - (3) 石川優教員から提供いただいた写真を掲載・公開した。
 - (4) 横山部会長からコンテンツに「編集局」という言葉が残っている。「編纂室」に訂正するよう依頼があった。

II) 協議事項

1. 100 周年記念誌
 - ① 「米沢高等工業学校初代校長 大竹多氣」について資料 46-1 に基づき、小関栄助氏から説明があった。

- 1). 今回は米沢高等工業学校に関連する出来事について記述した。
 - 2). 多氣は千住製絨所の関係で明治 19 年から 21 年にかけて英国ヨークシャー大学校に留学している。このような経験から染色工業へも多くの貢献をした。
 - 3). 明治 34 年に博士号を取得。同年、機械学会で講演、同学会誌にレピア織機、環状織機などを紹介する「自動織機」に関する論文を発表する。織機に関して、豊田織機(名古屋)に行き、調査してきたが、多氣の成果は先進的なものであることが検証できた。さらに、精査して、多氣の研究者としての位置づけを表現したいと考えている。具体的には、資料 46-1 の 4 ページの上の部分をもうすこし充実させたいと考えている。
 - 4). 多氣の米沢高等工業学校校長就任は強引な面があり、平田東助氏の存在が伺える。
 - 5). 明治 37 年には日露戦争が勃発しており、織機の需要が高まった時期である。
 - 6). 横山部会長から、小関氏の調査結果やテキストは 100 年記念誌に入れることはできないが、どのように活かしたらよいか、という意見が出され、小室編纂室員から、百年史の 2 章の後半に数ページで記述していただきたい旨、提案があった。それに対して、小関氏から「大学の研究者としては弱い面がある」旨解説があったが、小室編纂室員から「多氣の業績が分かれば良い」旨、コメントがあった。その結果、横山部会長から「基本的にはヒストリーの方に入れていきたい」という意見表明がなされ、その方向で進めることとなった。
 - 7). 栗野委員から、タイトルに初代と記入して欲しい旨、指摘があった。
- ② 「百人の声」原稿執筆依頼状況 (資料 46-2、資料 46-3～46-12)
- 1). 松田委員から[資料 46-2]に基づき、資料 46-2 で網掛けをした 10 名から原稿([資料 46-3]～[資料 46-12]) が寄せられ、全部で 110 くらいの数になる可能性がある旨、報告があった。
 - 2). 黄氏の掌編[資料 46-12]は手書きであり、電子テキスト化していくこと。
 - 3). 佐藤勉氏の掌編[資料 46-3]は専門家のチェックが必要と思われる。化学に関する知識が必要であることから高畑委員が担当することとなった。また、佐藤勉氏の文章中、オックスフォード大学を尋ねた際に「学生 200 名の背の低さにも驚かされた」という記述に、差別表現では無いかと危惧する疑問が出されたが、細谷氏は「問題無い」との見解が出される一方、「背の低さ」では無く「腰の低さ」(=礼儀正しさ)の誤りでは無いかとの指摘もあり、本人に確認することとなった。
 - 4). 鶴田氏の掌編[資料 46-3]にテーマとタイトルが無い。問い合わせが必要である。
- ③ 「年代記」の校閲状況
- 1). 部会員から寄せられた記念誌の校閲状況について資料 46-13 にまとめた。「米沢織」の使用について「米織」でも問題は無い、ということになった。
 - 2). 神戸委員から目次のページ数の記載が不揃いであるとの指摘があったが、細谷氏から意図的にこのようなデザインにしている旨、小室編纂室員から補足説明があった。
 - 3). 「百年の年代記」の第 3 章と第 4 章が届いた(資料 45-14)。第 3 章を大町委員ならびに奥山委員に、第 4 章を神戸委員ならびに結城委員に校閲していただく。
- ④ ジャーナルの進捗状況報告について、細谷氏から資料 46-15 に基づき説明があった。【変更点と今後の作業】が特に知らせたいところであり、今後力をいれていく旨報告があった。
- ⑤ 細谷氏から資料 46-19 に基づき 100 周年記念ジャーナルの制作スケジュールについて報告があった。横軸に記事の系列、縦軸に日程が記述してある。3 月 15 日は一通りの報告ができるであろう旨、報告があった。
- ⑥ Special Issues (2) パートナーシップ「米沢工業会」の仮デザイン校(資料 46-18)について説明があった。ライター石田治氏が山崎常務理事に約 4 時間、取材を行ったあと書かれた文章であり、精度の高いものになっている印象がある。133 ページの吉本隆明氏のコラムの文章はまだ書き起こしていない。「3. 人物紹介」(仮デザイン校 132 ページ)について表現を改める作業が残っている。

- ⑦ 「百人の声」に今月多くの原稿が入った。今後、経歴の確認や順番の確認などを進めていく。文字は一回り大きくする。
- ⑧ 「百人の声」の途中(p.190~193)に、結城学長のメッセージ「社会のための工学、工学のための社会」ならびに横山部会長のエピログメッセージ「米沢の歴史と風土の中で歩んできた百年」を挿入する。結城学長のメッセージは現在依頼中である。横山部会長の原稿は大丈夫である(資料 46-16)。本企画に関しては部会の議題にせず、準備を進めていた。事後承諾ということでお願いしたい旨、要請があった。
- ⑨ 「キーワード・コンセプト」に関して、応用生命からは項目は提出されているものの説明文が未入稿であること、工業会からは項目も未入稿である旨、報告があった。後ほど担当者から各担当の委員に個別に説明をする。
- ⑩ 栗野委員からパートナーシップ「米沢工業会」のタイトルが「山形工学部…」となっており、「大学」という文字が抜けている旨、指摘があった。

2. 百年史

- ① 今月の話題について片山委員から[資料 46-20]に基づき報告があった。
- ② 部局史の進捗状況について、栗野委員から今回提出した資料は昨年12月のものであるため、記載漏れ、情報が古いものが含まれている旨、説明があった。
- ③ 小室編纂室員から通史の執筆進捗状況について、説明があった。
 - 1). 第3章「充実期と戦時体制下の学校」の執筆が完了した。
 - 2). 第12章「大学の将来計画と創立百周年記念事業」の形が違うので、記述様式などについて検討中である。
 - 3). 小関氏の大竹多氣に関する調査結果を第2章「米沢高等工業創立と拡充」に含めるか、別に設けるかについて検討中である。

III) その他

1. 各種企画について

- ① 大竹俊樹先生の記念講演について
 - 1. 10月9日記念行事に、大竹俊樹先生の講演会を入れたい。車で迎えに行き、送り届けることも必要である。まだ大竹俊樹先生の許諾の返事はいただけていない。
- ② 卒業生の写真展企画(松田先生)について
 - 1. 佐藤つとむさんという山岳写真の撮影をされている方から工学部で写真展を開催させてほしいという申し出があった。主に海外の7000m級の山岳写真が多数あるとのことである。記念行事に組み込めるか検討する。史誌部会が中心になって企画をする可能性もある。

2. 功労者、著名人の選定について

- ① 5月4日の記念式典において、山形大学工学部の関係者で功労者、著名な人物をビデオで流すという企画を行うことになった。そこで、功労者、著名な人物を史誌部会から推薦して欲しい旨、要請があった。選定基準として、存命な方に限らない、本学に関係する方、教員である必要は無い、卒業生も可。また、ここで功労とは「社会に対する功労」を意味する。
- ② 3月10日までに報告推薦する必要があるため、3月3日までに推薦していただきたい旨、要請があった。各分野から1名、推薦する人物をメールで小室編纂室員に連絡をする。

3. 次回の部会について

次回の会議は3月17日(水)16時00分から第1応接室(予定)で開催の予定。

2010年3月8日